

令和7年度 英語科及びデジタル科実施状況について

(別紙2)

金沢市立大徳小学校

①児童アンケート

(1) 英語科(小学校6年生:令和8年1月実施) (%)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
問1	英語科の勉強が好きだ。	25.0	45.0	26.0	4.0	0.0
問2	英語科の勉強は大切だ。	64.0	31.0	3.0	2.0	0.0
問3	英語科の授業の内容が分かる。	41.0	44.0	13.0	2.0	0.0
問4	先生や友達に英語で質問することができる。	18.0	47.0	28.0	7.0	0.0
問5	先生や友達の英語の質問に英語で答えることができる。	21.0	44.0	29.0	6.0	0.0
問6	アルファベットの大文字が書ける。	54.0	31.0	9.0	6.0	0.0
問7	アルファベットの小文字が書ける。	52.0	31.0	11.0	6.0	0.0
問8	教科書やピクチャーディクショナリーの単語や英文を書き写すことができる。	42.0	35.0	18.0	5.0	0.0
問9	教科書の単語や英文を読むことができる。	23.0	35.0	37.0	5.0	0.0

(2) デジタル科(小学校1～6年生:令和8年3月実施)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらとも言えない	どちらかと言えば そう思う	そう思うわない
問1	自分やみんなのことを考えてICTを使うことができる。	52.7	27.3	17.3	2.0	0.8
問2	生活の中で上手にICTを使うことができる。	56.4	24.1	14.3	4.2	0.9
問3	深く広く学習するためにICTを使うことができる。	51.1	27.1	17.9	3.1	0.8

②指導改善の具体策

【英語科】 ・活字体で書かれた文字を見てその読み方を適切に発音する活動を繰り返し行い、発音と綴りを関連付けて指導していくことで、教科書の単語や英文を読むことができるようにしていく。 【デジタル科】 ・情報を集めたり、相手を意識して絵や図、表やグラフなどを作成して考えを表現したりすることで、深く広く学習するためにICTを使うことができるようにしていく。

③学校関係者評価

・デジタル変化が激しい現在の社会においては、学校が主体となって家庭を巻き込みながら、SNSの正しい使い方に関する啓発やデジタルシチズンシップ教育を充実させてほしい。 ・デジタルとリアルの両立が大切である。小学生にAIをどう使わせるか、AIの利活用についても積極的に取り組むとよい。
